

社会教育委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 第8期第4回社会教育委員会 |
| 2 | 日時 | 令和4年5月23日(月) 午後1時30分から午後3時50分まで |
| 3 | 会場 | 上田市役所南庁舎 503 会議室 |
| 4 | 出席者 | 竹花のり子委員 小山ひとみ委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員
小平千文委員 宮下俊哉委員 山崎順子委員 |
| 5 | 市側出席者 | 上原生涯学習・文化財課長 和根崎上田城跡整備担当政策幹
久保田人権同和教育政策幹 櫻井スポーツ推進課長 星野中央公民館長
大森川西公民館長 若林武石公民館長 浅野上田図書館長
金田上田情報ライブラリー館長 坂部博物館長
山田生涯学習係長 宮崎生涯学習係主任 古平地域学校支援員 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和4年6月10日 |

協議事項等

会議事項について

- 開 会
- 自己紹介 (異動職員のみ)
- あいさつ (代表)
- 会議事項
(1) 令和3年度実績報告と 令和4年度重点目標について
(事務局) 各所属長から(1)についてそれぞれ説明(代表で公民館は中央公民館長、図書館は上田図書館長)

質疑応答主な内容

- (委員) 史跡上田城跡の整備期間はどうか
(事務局) 武者だまりの整備、市民会館の跡地の整備については、財源の確保についてまだ国からの正式決定がないが、令和6年度中の解体着手を目指し、今後、より具体的なスケジュールが説明できるよう取組を進めていくことを説明。
- (委員) 信州ふるさと先人館について、より多くの皆さんに見てもらうために一工夫が必要ではないか。
(事務局) 教育会館での展示だけでなく出張展示等行っていく事を説明。
- (委員) 文化財の保存と活用で令和4年度の目標はどうか。
(事務局) 例年2件以上で目標を掲げており、現在、何件かの調査を行っており、実際の登録は県や国であるが、登録していただけるよう裏付けも必要なため、引き続き調査を行っていくことを説明。
- (委員) 個人で持っている化石も含めた鉱山資源等を調査や収集計画についてはどうか。
(事務局) 文化財保存活用計画は今後保護だけではなく、いかに活用し、それを保護に繋げるかということを目指した計画であり、基本計画の中で調査の必要性は謳われてきているところもあるため、今後優先順位をつけて行っていく事を説明。鉱物や化石調査については、現在予定ないが相談していただきたいと依頼。
- (委員) 市民の森スケート場の利用者数と今後の方向性についてはどうか。
(事務局) 例年、1万数千人の利用があったが、ここ2年コロナの影響もあり半数以下に激減。機器等も老朽化し、設備の更新にも膨大な額の試算となる。子どもが減っていく中で維持していく事は非常に難しいが、様々な方向から検討していくことを説明。
- (委員) 丸子郷土博物館と公文書館の併設による相乗効果やメリットはどうか。
(事務局) 市立博物館ではコロナ禍で大幅にお客様が減っている中、丸子郷土博物館はコロナ前と大きく変わらない。公文書館だけでは入館料はいただけないが、併設により200円の入館料をお支払いいただき博物館も見いただいている。明らかに公文書館の併設になったことは非常にメリットがあったのではと考える。メリハリのある展示に取り組んでいくことで相乗効果が出る手段となると考えていることを説明。
- (委員) 生涯学習では平和学習推進のための戦争遺跡調査、看板設置の内容はどうか。
(事務局) 市内に戦争遺跡は多くあり、調査、保存を並行して行っているが、仁古田飛行場、松脂採取痕をはじめ、戦争を伝える遺跡に説明看板を設置し、学習活動にも繋げている。今年度も説明看板の設置に向け準備を進めていることを説明。
- (委員) 人権同和教育関係では、今、社会の中では人との距離や親族の繋がりが非常に遠くなっている。人と人との違いを認め合っていける多様性と言われながらもなかなか認められない社会。人権学習が平和にも繋が

っていくので、粘り強く取り組んでいただきたい。

(2) 市町村と県による協働電子図書館について

(事務局) 事業について説明

(委員) 事業に関する質問が出された。(事務局で回答)

(3) 社会教育委員今年度の事業について

(委員) (事務局) 年間の主な事業について説明 (委員承認)

5 その他

(1) 提言について

(委員) 提言のまとめ方等について御意見をいただきたい (委員の皆さんで協議)

(2) 諸連絡

6 閉会